





計画の目指す姿

多種多様な環境から成り立つ里山

多種多様な林齢・樹種からなる森林や草原がバランスよく配置された明るい里山を作ります。

多くの人々が里山を資源として利用

里山が、市民にとって親しみの持てる場となり、レクリエーションの場、森林資源を得る場、大自然の営みを知る場として機能します。

災害の少ない安全な暮らしをもたらす里山

木材利用の進展による森林の土砂災害防止機能や水源涵養機能の維持向上が、災害の少ない安全な暮らしを私たちにもたらします。

計画期間

平成27～31年度

計画実行組織

(仮称)安曇野市
里山再生推進協議会

(事務局
安曇野市耕地林務課)



具体的な取組



里山資源の利用

- 木材資源の地産地消
- カラマツやアカマツなど有用材の伐採利用

● 木質バイオマス利用促進プロジェクト
燃料としての木質バイオマス利用

● 安曇野材利用促進プロジェクト
建築用材としての安曇野材利用



里山での活動推進

- 里山を楽しむ知識と技術を学ぶ
- 里山再生に必要な知識と技術を学ぶ

● 里山学校プロジェクト
里山学校の開設・運営



松枯れ・鳥獣被害の減少

- 市民一人一人でも実行できる対策の開発と普及
- 松枯れ被害の拡大を抑制

● 里山保全・体験学習プロジェクト
松枯れ・鳥獣被害対策の市民参加型企画の立案と運営

● 松枯れ対策実践プロジェクト
松枯れ予防対策の実践



プロジェクトの進行計画

